



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp

学校だより 11月号
令和4年10月31日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索 

体験を重ね

校長 松永 淳子

落葉樹の葉が一枚また一枚と落ちる度、秋の深まりを感じています。朝は布団から出るのが辛くなる季節を迎えようとしています。子どもたちは、元気一杯「おはようございます」のあいさつと共に校門をくぐって登校してきます。そんな子どもたちの声に力をもらいながら一日のスタートをきっています。

10月は4・5・6年生が宿泊を伴った校外学習に行っていました。3年ぶりの活動となりましたので、私たち教職員も二日間の活動について十分に計画を立て、子どもたち一人ひとりが達成感をもち安全に活動できるよう事前の準備を行い、当日を迎えられるようにしました。子どもたちも事前学習に余念がなく、学習を進めるたびに新しいことを発見し、興味・関心が膨らんでいくのが、聞こえてくる会話から伝わってきました。

学習がスタートした頃は子どもたちの楽しみは、「友達とお泊りすること、食事をする事、お風呂に入る事」と日常生活を共にできることへの喜びでいっぱいでした。しかし、学習が進んでいくにつれ「キャンプファイヤーをすること、村内ウオークラリーをすること、クラフトで作品をつくること、藍染体験をすること、文化遺産を見てくること、滝を見ること、ふくべ細工体験をすること」など今まで知らなかった体験をすることに変化し、それらのことに期待をもっていく子どもたちが増えていくのが分かりました。更に、具体的にどのようにしたいのか、何を見たいのかと考える子どもたちが増えていく事に、自分で調べたことや友達が調べたことから知識を得て、学びが深まっているのが分かりました。

二日間校外で過ごし、帰校した子どもたちは心地よい疲れと共に満足感で満たされていました。次の登校日には、校外学習のめあての達成度について、一人ひとりが振り返っていました。できたことだけでなく課題として残ったことについても捉えていました。自分で考えためあてについて「できた」という満足感をもてることは何よりも大切なことです。また、それと同じくらい大切なことは、「課題として残ったこと」です。そして、そのことを肯定的に捉えることができたのは、事前学習をしっかり行った成果です。活動が終わるたびに振り返りの時間を取り、次の活動に繋げていく。こうしたい、こうなりたいというイメージを具体的に子どもたちがもつことができ、自分の中で価値付けができたのは、そういう時間の積み重ねがあったからです。これらは確実に子どもたちの次の活動へ繋がります。体験を重ねることで自信となり主体的な活動へと変化していきます。今回子どもたちの振り返りを見ながら、ここまでの学びの連続が、かけがえのない体験学習に変容していったのが感じ取れました。また、これらの礎となるのは1～3年生の時までの様々な経験です。友達との関わり、ルールや約束を守って行動すること、植物や動物とのふれ合い体験など一つひとつの積み重ねがあってこそその宿泊学習です。これからも日々の学習、友達とのふれあいを大切に活動を進めたいと思います。ご家庭での様々な準備等へのご協力ありがとうございました。

11月は表現週間が予定されています。子どもたちの真剣な姿が多く場面で見られることと思います。ご参観いただけますとうれしいです。11月もご理解、ご協力よろしくお願いたします。